

公共事業に係る効果等について

地域防災対策総合治山事業

た がし
田頭地区

(森林整備課)

【事業概要】

事業名 : 地域防災対策総合治山事業

地区名 : 田頭地区

所在地 : 唐津市相知町田頭地内

工期 : 平成19年度～平成22年度(4ヶ年)

事業費 : 494,509千円

事業内容: 治山ダム 16個、山腹工 7箇所(0.35ha)、
流路工 41.6m

【事業の背景・目的】

○事業の背景(被災状況)

- ・平成18年9月16日の秋雨前線による集中豪雨(最大時間雨量92mm、午前7時～午前11時の4時間で323mm)により、複数の山腹崩壊が発生
- ・二つの溪流で発生した土石流が下流の田頭地区まで流下し、家屋の全壊1戸・損壊4戸、橋梁7基が破損

○事業の目的

- ・被災後も、山腹の拡大崩壊や、溪流内の不安定土石等の流出の恐れがあり、田頭地区上流域の総合的な山地災害治山対策を実施

〈保全対象〉

人家78戸、小学校1校、県道1,700m、田35ha ほか

被災時の状況



施工地の概要



事業効果及び環境への影響（治山ダム）

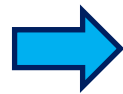
○事業効果

- ・ 治山ダムや流路工の施工により、不安定な土石の移動防止や溪岸浸食の防止が図られた。

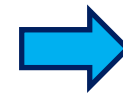
○環境への影響

- ・ 生活環境：溪岸浸食による濁水が防止され、水質が改善された。
- ・ 自然環境：溪岸の緑化により、多様な植物が生育し、生物環境が良くなった。

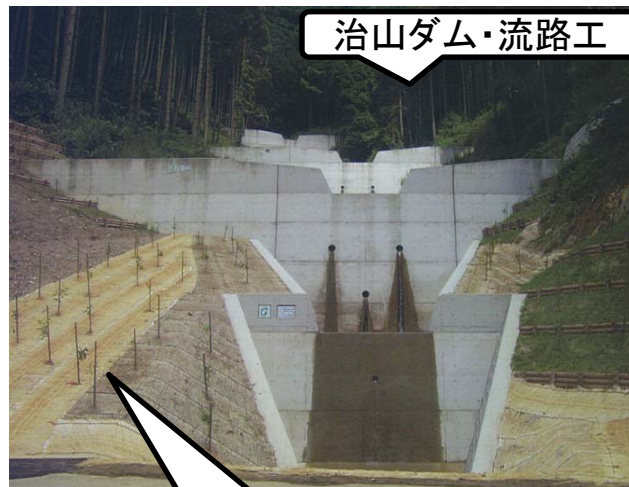
被災時
(平成18年)



整備直後
(平成22年)



現況
(平成29年)



事業効果及び環境への影響（山腹工）

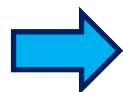
○事業効果

- ・ 山腹崩壊地の緑化により、山腹の安定や土砂の流出防止が図られた。

○環境への影響

- ・ 自然環境：崩壊地の緑化により、多様な植物が生育し、生物環境が良くなった。
- ・ 社会文化環境：森林の再生が進み、景観への影響は発生していない。

被災時
(平成18年)



整備直後
(平成20年)



現況
(平成29年)



施設の維持管理

- 治山ダム等の構造物については、県により点検・補修等の適切な維持管理を実施することとしている。
- 地元の唐津市では豪雨時における現地調査、市主催の防災パトロール等を通じて適切な管理を行っている。

地域住民の意見

- 豪雨災害発生当時は、土石流により家屋や道路が被災して、恐怖で眠れないが日が続いたが、平穏な生活に戻った。
- 治山工事により荒廃した溪流や山腹の崩壊地が復旧整備された姿を見ると安心感がある。